

# 会 議 録

日 時	令和2年9月16日(水) 午後6時00分～午後7時00分	場 所	日新館 市民ホール
会 議 名	【R01.8～R03.7期】第3回矢島まちづくり協議会(市長要請)		
出 席 者	別添 出席者一覧のとおり		

## 案 件 及 び 会 議 内 容

### 開 会

#### 【相庭裕之市民サービス課長】

大変、お疲れ様でございます。第3回矢島まちづくり協議会ということで、出席者については資料の次第裏面の出席者名簿にありますとおりの出席となっておりますが、委員の1番、佐藤久美委員からは欠席の届けがございました。委員の5番太田晃一委員と7番佐藤博之委員は未だ見えておりませんが定刻になりましたので、只今より第3回の矢島まちづくり協議会、市長要請ということで開催させて頂きたいと思っております。次第により進めさせていただきます。次第の1. 会長あいさつであります。三浦会長よろしく申し上げます。

#### 1. 会長あいさつ

##### 【三浦秀人会長】

皆さん、ご苦勞様でございます。本日はお忙しい中ご出席頂きましてありがとうございます。先日は、秋田県湯沢市出身の菅前官房長官が首相に就任されましたこと皆様とともに喜び、お祝いを申し上げたいと存じます。

さて、この会議は、当初3月に開催される予定でありましたが、皆様ご存じのとおり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期、中止となったものでございます。今回は令和2年度の矢島地域の主要事業等の説明を行政側からご説明頂くこととなっております。資料については、4月頃に皆様に配布され拝見していると存じますが、皆様から貴重なご意見を頂戴したいと思います。また、その後、各部会の現在までの進捗状況について、事務局より報告頂くこととなっておりますので、よろしく願い申し上げます。

#### 2. 矢島総合支所長あいさつ

##### 【相庭裕之市民サービス課長】

有り難うございました。続きまして矢島総合支所、清水支所長が、ご挨拶を申し上げます。

##### 【清水隆司総合支所長】

皆さん、お疲れ様です。大変お忙しところ、お集まり頂きましてありがとうございます。

また、日頃から、市の事業、地域の事業にご助言、ご支援をいただいておりますこと、深く感謝を申し上げます。

今日の市長要請の「まちづくり協議会」は、当初は、3月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりまして、延期されておりました。3月の頃と比べると、コロナウイルス自体のこともわかってきましたし、感染の傾向や対応の方法なども色々とわかってきておりますし、各国ではワクチンの開発も進んできております。これからは、新しい生活様式で生活をしながら、各事業所や一人一人の心構えが、重要だと思っておりますので、国や県のガイドラインを遵守しながら、今後は、感染拡大防止と社会経済活動を両立していけるように皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

今日の会議ですが、開催時期が半年ほど遅れておりますが、今年度、令和2年度の矢島地域の主な事業内容と進捗状況などを中心に説明をさせて頂きまして、皆さんと、情報共有を図って参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

この後、各課から説明をいたしますが、案件にないことでもかまいませんので、色々ご教示頂ければと思いますのでよろしくお願いいたします。簡単ですが、開会に当たりましてあいさついたします。今日はよろしくお願いいたします。

【相庭裕之市民サービス課長】

そうすれば、3の協議に入らせて頂きますが、ここからの進行及び協議の説明等は座ったままで行いたいと思いますのでご了承下さい。ここから閉会までの進行は、会長よりお願いしたいと思います。三浦会長よろしくお願い致します。

### 3. 協 議

【三浦秀人会長】

それでは早速ですが、協議に入らせて頂きます。次第の3（1）の矢島地域の主要事業について説明を頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

#### （1）矢島地域の主要事業について【概要説明・進捗状況】

【畑澤賢振興班長】

はじめに市民サービス課振興班から説明させて頂きます。資料は横版の資料1になります。開きまして1ページ目・2ページ目が市民サービス課になりますのでよろしくお願い致します。まず1番でございますが、地域づくり推進事業でございますが、この事業に関しましては、当まちづくり協議会振興・建設部会の1事業を含めまして、令和2年度15事業、要望額につきましては、4,094千円の補助要望がございましたけれども、皆様ご存じのとおりコロナの影響によりまして現在のところ4事業が中止ということで事務局に連絡を頂いております。また、ほかの事業につきましては、現在のコロナの状況を踏まえまして、中止または要望どおり継続という判断になるかと思われまます。続きまして4番でございます。地籍調査事業でございます。本年度につきましては、現地調査、調査地区の方でございますが、立石字中貝喰の一部54ヘクタールの現地調査を実施しております。また、登記事務につきましては、昨年度現地調査致しました立石字上貝喰地区74ヘクタールを法務局への登記に向けて現在、作業を進めているところでございます。次に5番でございます。地域間交流事業でございます。矢島地域とご縁があります佐久市さん、高松市さん、丸亀市さんとの交流事業に係る経費でございますが、3年に1度開催している高松市の物産展を含めまして3市とも物産展に関しては中止と連絡を頂いております。なお、高松市さんにつきましては、今年度中止になったわけでございますが、来年度開催する方向で再度調整をしたいと連絡を頂いております。振興班の事業につきましては以上でございます。

【佐藤昌司市民サービス課参事】

続いて、市民福祉班の事業について、私の方からご説明いたします。事業ナンバーが6、7、8になります。6番の矢島地域敬老会事業につきましては、6月6日敬老会の予定をしておりましたが、先般の新型コロナウイルスの感染防止のため中止となっております。ほかの地域全地域で開催中止ということになってございます。続いて7番、高齢者等施設修繕事業でございます。2つの施設の修繕を実施しております。1つは矢島高齢者生活支援ハウスでございます。こちらは、電気温水器交換修繕と居室の畳表替え修繕ということで、これは発注済みで完成を待っているという状況です。また、老人福祉センター寿康苑につきましては、大広間の畳の表替え

交換修繕ということで7月25日に完成しております。続いて8番であります。矢島斎場火葬炉等補修事業でございます。こちらの方は毎年、年度別に計画を立てまして修繕を行っている事業であります。本年度は排気ファンの主要部品の交換と炉内台車の更新ということで、本日入札を行いまして宮本工業所が落札しております。予定としては、10月の9日から11日までの3日間の施工を予定しておりまして、炉を止めての施工となりますので、火葬できない状況とまります。詳細については、矢島支所だよりに掲載してお知らせしたいと考えております。市民サービス課市民福祉班の事業は以上でございます。

**【土田真澄産業課長】**

続きまして、産業課から説明いたします。ページは3ページから6ページとなります。ナンバー1から19までに関しましては、農林水産班分となりますので、黒木参事の方から、また、ナンバー20から24までは商工観光班分となりますので松田参事の方から説明をさせて頂きたいと思っております。

**【黒木浩二産業課参事】**

産業課の黒木です。私の方からは3ページから農林水産班関係の事業につきまして説明させて頂きます。ナンバー1からナンバー8までにつきましては、由利本荘市全体で実施されている事業でございまして、こちらにつきましては農家の皆様を支援する事業を実施しておりまして、備考欄にはそれぞれ矢島地域で対象となった事業内容を記載しております。事業ナンバー9番、矢島地域に関連した事業でございますが、矢島バイオセンター施設修繕、こちらにつきましては、バイオセンターで堆肥を製造しておりますが、堆肥を攪拌する攪拌機の走行レールに歪みが見られるため、レールを交換する修繕になっております。こちらにつきましては9月中に発注となっておりますが、10月の頭に起工する予定で進めております。ナンバー10、ミルジー資料展示施設修繕、これはジャージーハウスと呼ばれている施設でございますが、こちらは本年度外壁を修繕することになっております。5月26日に完成し、事業費が242千円となっております。資料には記載が漏れてしまいましたけれども、本年度、洋鐘を改修して利用できるようになっております。7月15日に完成しておりまして、事業費561千円となっております。続きましてナンバー11、県営担い手育成基盤整備事業でございます。こちらにつきましては、小坂戸地区が対象となっております。ほ場を基盤整備するといった事業でございます。昨年度までは事業採択に向けた調査、計画等ございましたが昨年度で終了致しまして、今年度事業採択となっております。今年度からは、事業実施に向けて具体的調査、測量が実施されることとなります。また、基盤整備完了後、新たに農地を割り当てることを換地といいますけれども、換地の計画についても現在検討委員会におきまして話し合いが行われている状況でございます。来年度からは面工事、実際のほ場の工事に入ります。工事の区域としては、小坂戸の国道端の上野平地区というところの台地に入ります。あと、小坂戸の牛舎があるところ布目地区といいますけれども、この2地区が来年度面工事に入ります。いよいよ工事に入るという状況となっております。ページ捲りまして5ページ目でございます。ナンバー12、県営農村地域防災減災事業でございますが、こちらにつきましては立石堰の整備を行っているということで、本年度で事業完了になります。飛びましてナンバー17、秋田県水と緑の森づくり事業でございます。こちらにつきましては、熊出没区域にほ場と山林の間に緩衝帯、直接山林から田畑に出ないように緩衝帯をつくるという事業でございまして熊野出没を防ぐというものでございます。本年度、矢島地域は小坂戸地域で実施されておりまして9月1日から現地の下刈り作業に入りまして現在は作業を終了しておりまして、緩衝帯の方は完成しております。次にナンバー18、予防治山事業沢内地区についてでござ

ございますが、平成24年度から地滑りの補修事業として行われておりまして、計画では昨年度で終了でありましてけれども、昨年新たな地滑りが発生し、その追加工事が本年度実施されております。その影響によりまして令和3年度まで工期が延長されまして、令和3年度には完了する見込みとなっております。次にナンバー19、あきたの酪農推進対策事業、こちらにつきましては6月補正で新規で追加となった事業です。今年3月に花立地区に完成した農事組合法人の鳥海高原花立牧場が所有しておりますロボット牛舎がございますが、そちらにホルスタイン種の乳牛を導入することへの支援事業となります。導入頭数が49頭で、昨年は別事業で32頭導入しております。農林水産班の事業は以上です。

**【松田英輝産業課参事】**

続きまして、商工観光班について説明させていただきます。ナンバー20番から24番までとなっておりますけれども、こちらの方は主に花立地区の施設に関わる内容であります。21と22のスキー場についてですけれども、こちらはクワッドリフトの油圧系統の整備やナイター照明のケーブルの更新、そして圧雪車の購入等で、合計で76,000千円を少し超える予算となっております。いずれも発注済みでございます。続いてサイクルロードレースについてですけれども、こちらは新型コロナの関係から、なるべく早い開催可否の判断が必要ということで、実行委員会を4月14日に開催し、その場で中止を決定したものでございます。次に花立牧場公園施設整備事業ですが、こちらは平成2年建築しましたコテージ4棟の解体のほか、花立倉庫の解体、ラグビー場の法面修繕で、いずれも発注済みまたは完了済みとなっております。以上でございます。

**【畠山寿和建设課課長補佐】**

建設課、畠山と申します。資料の方7ページをご覧ください。建設課に関する事業について5つ掲載しております。上の方から市道祓川線他道路拡幅事業、こちらは令和元年度の繰越事業となっております第2工区と第3工区を併せて発注し、矢島建設さんで受注して工期が今月末ということで現在最終段階のところまで進んでいます。事業費の方が50,722千円ということで最終の契約額となっております。次が同じく市道祓川線他道路拡幅事業、こちらは本年度の事業としまして第4工区と呼ばれる区間、こちらは祓川線の祓川堰口線の分岐の下側になりますけれども150メートルを拡幅する予定で、国有林、国定公園内であることから関係する部署と協議を進めているところであります。次に橋梁長寿命化事業、こちらは荒沢川橋の橋梁補修工事を予定しております。事業費の方が現在試算を行っておりますけれども当初の予定よりも大幅に増えておりまして90,000千円程度を予定しております。工事の内容としましては、橋のガードレールが設置されている部分のコンクリートの損傷が著しいということで、こちらをすべて造り直すということで当初より大幅に増えているということでございます。現在発注に向けて準備を進めている状況となっております。次に住宅リフォーム資金助成事業ですが、本課の建築住宅課の事業であります。8月末時点で交付決定件数は159件、矢島地域では7件の申請を受けております。事業費の方は31日時点の交付決定事業費となっております。次に浄化槽設置事業費になります。こちらにつきましては、下水道が整備されていない地域で浄化槽を設置する際の助成事業となっております。こちら8月31日時点で17件の申請、矢島地域の申請はございません。こちら本課の事業となっております。建設に関する事業については以上となります。

**【佐藤陽一教育学習課班長】**

矢島教育学習課の主要事業について、ご説明させていただきます。資料の方は8ページから10ページ、10点ほど揚げさせて頂いております。何点かかいつまんで説明させていただきます。まず1点目の矢島小学校改築事業につきましては、執行額15,950千円であります。矢島小学

校建設基本設計につきましては、契約額15,950千円、契約先は、コスモス・工藤設計共同企業体であります。契約期間は、7月27日から翌年2月26日であります。内容につきましては、老朽化した矢島小学校を中高連携校の敷地内に建築するための基本設計をまとめるものであります。次に日新館施設修繕事業につきましては、執行額68,222千円であります。内容としましては、日新館の空調設備更新工事、キュービクル防錆修繕、正面入口自動ドア修繕の3つの事業に係る経費であります。空調設備更新工事につきましては、これまでの冷温水発生装置による冷暖房をEHPいわゆる電気エアコンに更新するものであります。契約額につきましては、67,100千円工期については来年の1月末を予定しております。この工事にあたって、日新館は通常どおりご利用いただけますが、郷土資料館につきましては、来館者の安全確保のため、10月19日から11月30日まで休館とさせていただきます予定となっております。休館につきましては、広報でお知らせする予定でございます。次にページをめくりまして、下の方、7点目の地域活動振興事業についてであります。執行額が0円となっております。ご承知のとおり、新型コロナウイルスの状況などから、ちびっこハリキリマウンテンや、矢島産業文化祭が中止となっております。次に8番目のスポーツ関連主催事業であります。矢島小学校水泳教室は例年どおり実施しております。3日間で22名の参加を頂きました。続いてヨガ教室は、全4回を予定しております。本日が1回目の開催となっております。4地区合同ウォーキングにつきましては、10月10日土曜日10時から鳥海地域で開催される予定となっております。25名の参加の予定となっております。次に9点目でございます。生涯学習推進事業でございます。執行額が88千円となっております。歴史講座に係る経費となっております。シニア教室、ゆたかなシニアライフに向けては、10月21日水曜日13時30分から日新館研修室で開催予定でございます。秋田県金融広報委員会から講師をお招きし、高齢者向けのライフプランや豊かな老後のためのマネープランをお話して頂く予定です。教育学習課からは以上でございます。

**【佐藤一理南部地域包括支援センター室長】**

南部地域包括支援センターの主要事業について説明いたします。資料の方は11から12ページをご覧ください。主な主要事業として7点記載しております。記載しております令和2年度事業費は本課全体の予算額となっておりますのでご了承ください。はじめに1番の介護予防・日常生活支援事業について説明します。地域包括支援センターの一番の主要事業は高齢者総合相談であります。昨年度の相談件数は市全体で5,500件超ありました。そのうち、南部地域包括支援センターでは2,130件の相談を受けております。今年4月から8月末現在では1,042件の相談がありました。そのうち矢島地域の相談件数は487件で全体の46パーセントでありました。1ヶ月の平均では約200件以上の相談を受けている状況であります。これは、昨年度と同様の件数となっております。相談概要としましては、生活に関すること、例えば高齢者の一人暮らしの人からこれからの生活が不安だというようなこと、これから先、何かあったときどんなサービスを使えるのかという相談だったり、介護に関すること、こちらの方は、既に介護が必要で介護保険のサービスを利用したいけど、どうしたらいいのだろうかという内容の相談がほとんどでありました。その相談は、本人、家族からの相談の他、地域の民生委員さんや関係機関からの相談も増えております。次に、2番の介護支援ボランティア事業について説明します。この事業は、高齢者の社会参加・健康増進・介護予防と生きがいつくり等を目的にボランティア活動を行った高齢者に対しポイントを付与し、市の特産品と交換または換金するものです。今年度の登録者数は市全体で111人。ポイントの交換者は82人おりました。矢島地域では23人の方が登録し活動されております。次に3番の地域ミニディサービス活動支援事業について説明します。

この事業は町内の集会施設などを利用して、町内会単位で自主的に高齢者が気軽に集う活動に交付金を支援するものであります。今年度の市全体の申請町内数は37町内ありました。コロナ感染の影響から、昨年度と比べ申請数は1町内会減っておりますが、矢島地域は昨年より1町内増え、8地域の町内会が自主的に活動しております。水上・大川原・坂ノ下・上新荘・中屋敷・小坂戸・山寺町内会に加え新規で荒沢、九日町が申請しております。続きまして、4番の認知症総合支援事業について説明します。地域包括支援センターでは認知症になっても、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らし続ける事ができるよう、さまざまな認知症施策に取り組んでおります。事業内容の3段目、「認知症カフェ運営補助金は」は、認知症の人やその家族、が気軽に集い、認知症の介護に関する専門職と交流や情報交換すること事を目的とした「認知症カフェ」の開設を支援するもので来年度の新規開始は2ヶ所を見込み各地域で開設できるように力を入れている事業であります。今年度のカフェの運営状況は本荘地域で4ヶ所・大内地域で2ヶ所・岩城地域で1ヶ所の計7ヶ所で運営しております。次に5番の認知症高齢者見守り事業について説明します。地域に住む認知症高齢者及びその家族等の見守り、認知症予防や普及啓発、家族介護に必要な知識や環境を提供する事業であります。高齢者見守りSOSネットワーク事業は認知症が原因で行方不明になる可能性のある方の名前や特徴、写真などを事前に登録しておくことで、行方不明になった時に地域の支援で早期に発見するためのネットワークです。令和2年8月末現在のネットワーク協力事業所は93ヶ所で、登録者は29名になっています。矢島地域は1人登録しており、市全体では年々登録者が増えている状況です。また、今年度よりSOSネットワーク見守り体制強化のため、QRコードラベルを読み取るだけで、発見から保護まで早期解決へ導く、身元不明者保護情報共有サービス「どこシル伝言板」導入しております。次に6番の介護予防教室事業について説明します。活動的な高齢者を対象に生活機能の維持・向上に向けた介護予防教室を開催するものです。昨年度同様今年度も、認知症の前段階である(MCI)の方々の認知機能の維持・向上に役立つ運動として注目されてる「コグニサイズ」の教室と、健康と要介護の中間の虚弱な状態である方を対象とした「フレイル教室」を開催し、介護予防の推進に取り組みます。また、一般介護予防教室は高齢者の集いの場が不足している町内をピックアップし介護予防のための教室や講話を実施するもので南部包括でも開催いたします。7番の在宅医療・介護連携推進事業について説明します。医療と介護の両方を必要とする高齢者が、地域で最期まで暮らし続ける事ができるよう、在宅医療と介護連携に関する研修会やセミナーを開催したり、医療と介護等の関係者による委員会等を開催するものであります。今年度も、一般市民を対象に「包括ケアセミナー」を岩城・鳥海地域で開催予定をしております。矢島地域でも昨年11月に開催しており、多くの方から参加いただけるよう、継続して取り組んで参ります。南部地域包括支援センターは2年度も、市民の皆さんが集う地域の行事等にできる限り参加させていただき、顔の見える関係を作って参ります。また、困った時には包括支援センターに相談できる体制を作ると共に、助け合いのある地域づくりの支援をして参りますので、よろしく申し上げます。南部地域包括支援センターからの説明は以上でございます。

**【三浦秀人会長】**

はい、有り難うございました。ただ今、各課より本年度の主要事業を説明頂きました。ここまでで、皆さんから質問を伺いたいと思いますので挙手の上お願いします。

**【A委員】**

数事的なことではないのですが、6ページのナンバー19、備考欄の事業対象者の括弧内はなんて読むのでしょうか。例えば、株式会社であれば括弧株じゃないですか。農は何の略ですか。

【黒木浩二産業課参事】

農事組合法人の略称です。括弧農と表記します。

【A委員】

なかなか、聞き慣れないものですから。了解しました。

【三浦秀人会長】

他にございませんでしょうか。無いようですので、次に進めさせていただきます。

#### 4. 報 告

##### (1) 各部会協議の進捗状況について

【三浦秀人会長】

4番の報告(1)各部会協議の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

【佐藤昌司市民サービス課参事】

はい、私の方から、4、報告の各部会協議の進捗状況についてということで資料の2になります。はじめに振興・建設部会の方ですけれども、昨年8月に令和元年8月から令和3年7月期の協議会が始まったわけですが、それ以降、第1回が11月7日に開催しております。これからの活動内容について協議しており、事務局提案の活動内容を協議して頂きましたけれども、自分たちが何をしたいのかということについて次回まで検討してきてもらうということで終わっております。2回目が11月27日となっております。各委員から提案して頂いた取り組みを協議しております。結果、人口減少に歯止めをかける、ということで、前期の委員もやりましたけれども、出会いの場の創出を行うということで決定しております。第3回については、出会いの場の企画案を協議しております。各委員の企画案の中から「いやしの祭典バスツアー」というものをベースに企画するというので協議しております。第4回目が令和2年の1月22日に開催し、企画のタイムスケジュールだとか収支予算について協議して、地域づくり推進事業を使って行うということを決めて、エントリーしておりましたが、先般の新型コロナウイルスの関係でいやしの祭典が中止になったということで、このバスツアーについては、とりあえず中止としております。

続いて、福祉・教育部会です。第1回目が11月11日ということで、これからの活動内容について協議をし、テーマを子育てに決定し、活動内容については、子育てに関するアンケートを実施し、それを基に問題点・課題を掘り起こし、その課題等を解決する方策を探ることとしております。2回目につきましては、アンケート内容について協議をしておりまして、目的、対象者や収集期間、収集方法を協議しております。第3回目が、アンケートの設問案について協議をしております。

産業部会につきましては、1回目が前期の産業部会の実践活動の報告と今期の産業部会の実践活動について協議をしております。2回目は、各委員から提案された取り組み案について協議をし、その中から「矢島の産業等のアンケート調査の実施」と「ものづくり作業体験」の2案に絞り込んでおります。第3回目では、2案を協議し「矢島の産業等のアンケート調査の実施」に決定しております。第4回ではアンケートの素案について協議をし、第5回では、アンケート内容の決定と実施時期、収集方法について協議をしております。

いずれ、新型コロナウイルスの関係で開催が出来なかったということで、感染拡大も一段落しそのような感じが致しますが、委員の任期も既に1年が過ぎております。引き続き部会を開催して頂き協議を進めて頂くようお願いいたします。進捗状況については以上でございます。

【土田真澄産業課長】

産業部会から補足とお願いです。第5回部会でアンケートの収集方法について協議しておりま

すことは説明のとおりですが、アンケート調査の対象は、まちづくり協議会の委員の皆様と行政協力員の皆様をお願いすることで決定させて頂いております。皆様にはお手数をお掛けすることになりますけれども、ご協力の程よろしくお願い致します。なお、アンケートの回収ですけれどもまちづくり協議会の委員の皆様には、本日の資料と一緒に配布させて頂いておりますので、今後予定されております各部会の際にご持参頂き、各事務局へご提出をお願い致します。また、行政協力員の皆様からは10月15日号の市の広報を配布するバックをお返す際に産業課に提出して頂くよう10月1日付けで配布する予定であります。よろしくお願い致します。以上です。

【三浦秀人会長】

はい、有り難うございました。ここまで3部会の状況について報告頂きました。報告ですので質疑とはならないかもしれませんが、何かお話ししたいことがございましたらお願いいたします。

【木村秀紀委員】

産業部会の部会長の木村です。先ほど産業課長からもお願いがありましたけれども、アンケート調査の方、私の方からもご協力をお願い致します。よろしくお願い致します。

【三浦秀人会長】

アンケートの方、皆様よろしくお願い致します。ほかに3部会の部会長さんから何かお話ありませんでしょうか。

【佐藤一弘委員】

振興・建設部会の佐藤です。当初出会いの場のイベントということで、9月予定しておりましたが、残念ながら中止ということで、実施できておりません。まず、出会いの場を一つやって、少し期間が残りますので、何かもう一つぐらいと話はしておりましたけれども、新型コロナの状況を見ながら部会の方を進めていきたいと思っておりますので、参集をかけたときには、部会のメンバーの皆様、都合を付け参加頂きますようお願いいたします。

【三浦秀人会長】

ほかにありませんでしょうか。ないようですので5番のその他に移りたいと思います。

### 3. その他

【三浦秀人会長】

その他について、事務局から何かありますか。

【佐藤昌司市民サービス課参事】

私の方から、まちづくり協議会とは直接関係ないのですが、矢島地域の行政懇談会というものを、今月の28日、29日、30日の3日間開催いたします。市の方から報告事項ということで先ず1つは、新型コロナウイルスの感染拡大対策の支援策をどういったものをしているのかということ若干説明したいと思っております。それと産業課の方からは矢島スキー場の運営についてということで、今回ナイターの営業時間を変更するというので、その内容、それから建設課からは、県事業ですけれども荒沢地区の地滑りの復旧状況を説明します。それから教育学習課の方からは小学校の改築の件を説明することになっておりますので、もし、時間、都合つきましたら、委員の皆さんからも出席頂いて、意見交換できればと考えておりますのでよろしくお願い致します。私の方からは以上です。

【三浦秀人会長】

ありがとうございます。行政懇談会について、委員の皆さんからもご都合つきましたら出席頂きたいと思っております。皆さんの方から何かありましたらお願いします。

閉 会

**【三浦秀人会長】**

この会も、時間が大分経過してからの開催でありましたが、新型コロナウイルスの感染も大分少なくなってきたように感じがいたします。部会の方もこれから進めていきたいということで事務局からありましたので、日程を調整しながら開催したいと思いますので皆さん協力して頂きたいと思います。これでこの会の方閉じさせて頂いてよろしいでしょうか。それでは、これでまちづくり協議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。